

北九州市環境審議会「答申」等について

1 北九州市環境審議会「答申」（ごみステーションのあり方について）

（1）経緯

本市のごみ収集はステーション方式を基本とし、導入開始から約40年を経過している。

この間、核家族化や一人暮らし世帯の増加といったライフスタイルの変化などにより、ステーションを取り巻く環境も大きく変化してきた。

そこで、市は総合的な観点からステーションのあり方について改めて検討するため、平成26年8月に北九州市環境審議会に今後の「ごみステーションのあり方について」諮問し、平成27年4月13日に同審議会から答申を受けたもの。（委員名簿は資料1）

（2）審議経過（資料2）

審議4回、現地視察1回

（3）答申の内容（答申の概要は資料3、答申書は資料4）

① 今後のあり方

- ・ 現行の「ポリ袋ステーション方式」を継続
- ・ 社会状況の変化や地域の実情に応じ、ステーションの利便性や美観等をさらに工夫
- ・ 市と地域が「車の両輪」となってステーションを維持、管理
- ・ 全市統一的ルールは最低限とし、地域が築き上げてきたルールを尊重

② 今後の市の対策（4つの視点と基本的な方針）

4つの視点	基本的な方針
ステーションの配置	地域の要望等に沿った柔軟なステーションの配置
地域への支援	地域の独自のルールを支えるためのきめ細かな支援の強化
指導及びPR	指導など地域で解決が難しい課題への対応の強化
事業系ごみ対策	事業系ごみの適正処理などの再度の徹底と指導の強化

2 ごみ出しルール等のPRについて

(1) 目的

単身者や学生、外国人など地域とつながりが薄い人にも、北九州市のごみの分別・排出ルールを知ってもらうため、「北九州市ごみ分別アプリ分別大事典」、「分別大事典（ベトナム語版）」を作成したもの。

(2) 北九州市ごみ分別アプリ分別大事典について

- ① 配信開始 平成27年3月31日（火）
- ② 対応端末 スマートフォン、タブレット型端末
- ③ 入手方法 App Store（iOS 端末用）、Play ストア（Android 端末用）
※QRコードを市ホームページに掲載
- ④ 構成内容
 - ・「資源」と「ごみ」の分け方・出し方
 - ・分別早見表 ～ていたんサーチ～
 - ・回収ボックス等の設置場所を地図上に表示
（蛍光管、紙パック・トレイ、古紙、小物金属、小型電子機器）
 - ・ていたんとブラックていたんのごみ分別ゲーム

(3) 分別大事典ベトナム語版について

これまで、英、中、韓の3か国語対応だったが、新たにベトナム語版を追加。

- ① 配布開始 平成27年4月1日（水）
- ② 配布場所 区役所、環境センター、北九州国際交流協会など